

	仕様	項目番号	項目	評価ポイント	配点
受講前	デバイス	1	マルチデバイス対応	PC・スマートフォン・タブレット等で受講が可能である	1
申込開始時	申込フォーム	2	申込フォーム作成	受講者自身が申込みを行えること	3
		3	コース分け	研修のコースが分けられること	
		4	ライブ講義日程・集合研修選択 (可能であれば残席数等、申し込み可能日をわかりやすく可視化)	受講者がライブ講義や、集合研修の日程を任意で選び申込みできること	
	アカウント	5	アカウント発行	受講者自身が申し込んだ際にアカウントが発行されること	4
		6	管理者用アカウント(5ID程度)の付与	管理者が動作確認できる専用アカウントが複数付与されること	
		7	施設アカウント(親アカウント)と個人アカウント(子アカウント)の設定ができること	施設アカウント(親アカウント)と個人アカウント(子アカウント)の紐づけができること	
	申込者管理	8	申込者名簿作成 (各回ライブ講義別に受講者名簿のダウンロード)	ライブ講義の各回ごとに分けて申込者リストができ、各回ごとにダウンロードできること	10
		9	申込者名簿CSV書き出し	申込者のリストがCSVもしくはExcelデータで書き出せること	
		10	既存のリストとの申込状況の照合	既存リストと申込者を照合でき、申込み漏れ、重複申し込みを防止できること	
		11	他システムとの互換性	将来的に他のシステムを追加する必要があるときに、互換性が高いシステム等の紹介・連携ができること	
		12	施設管理者による受講者変更	施設管理者が受講者の変更ができること	
		13	定員管理 (満了の日程は選択できないようにする)	申込定員の上限を設けて、受付を停止できること	
		14	キャンセル待ち枠の設定と 自動繰り上がり当選機能	希望の日程が定員に達している場合、キャンセル待ち申込みができること	
		15	キャンセル (可能であれば受講者自身でキャンセル可能)	受講者自身が受講キャンセル操作を行えること	
		16	申込者のコース振り分け	一つの研修コース内に2つ以上の分岐コースがある場合、申込者自身でコースを選べる。また、管理者側で申込者のコース振り分けができること。	
		17	メールの送信	申込や受講開始時等、適宜タイミングと対象者を指定してメール配信ができること	
	開講(eラーニング・ライブ講義)	教材	18	各科目 映像・資料の無制限搭載 (PDF・Excel・Word・MP4等)	協会が作成した動画、PDF・Excel・Word・MP4等の一般的に使用されている保存形式の資料等が制限なく搭載できること
19			受講の進め方ガイド(映像・資料)搭載	システムのマニュアル用意があり、それを受講者が閲覧できること	
20			動画の倍速再生システム (0.5~1.5倍速くらいまで)	受講者が自由に動画の再生速度を変えられること	
21			受講者のデータダウンロード (PDF・Excel・Word等)	管理者がアップロードしたデータを受講者がダウンロードできること。	
22			受講者のデータアップロード (PDF・Excel・Word等)	受講者が課題等のデータをアップロードできること。	
23			受講者がアップロードしたデータを 管理者がダウンロードする機能(PDF・Excel・Word等)	受講者がアップロードした事前・事後課題等を、管理者が一括ダウンロードできること	
テスト		24	アンケート・レポート (設置・集計・分析)	事前・事後レポートやアンケートの設置が可能なこと	4
		25	各科目テスト (テスト設置・採点・正答率集計・分析)	各科目でのテストを自動計算できること。シャッフル出題機能があること。集計分析もできること。	
進捗確認		27	eラーニング修了者・未修了者管理	期限内にeラーニングを修了できなくても、一定期間の間、施設内で園内研修を目的に閲覧可能にできること	3
		28	管理者が受講者の進捗確認できる (視聴ログ管理)	管理者が受講者の視聴時間を確認等できること	
		29	受講者がマイページ等で進捗確認できる	受講者自身が容易に受講状況を確認できること	
禁止行為		30	顔認証システム	受講開始時及び受講中にも複数回、受講者本人であることが確認できること	5
		31	初回早送り禁止システム	初回のみ確実に学習してもらう為、初回再生時のみ早送りができない制限をつけること	
		32	複数タブ同時視聴禁止システム	同じデバイス内で、複数タブで講座を同時に再生することを防止できること	
受講管理	33	ライブ講義受講者決定	eラーニングを修了した受講者のみがライブ講義の日程を選択できる仕組みがあること	3	
	34	リマインド機能 (受講者の進捗・コースにあったメール)	受講者の受講進捗にあったメールが自動送信できること		
ツール	35	Zoomあるいは同等の双方向形式の研修ができるシステムとの連携ができること ※その場合、ブレイクアウトルームの機能が必須	システム内にZoom同様の機能がない場合、Zoomを利用できるようであれば差し支えない	6	
	36	Zoomあるいは同等の双方向形式の研修ができるシステムのURLと受講者番号を個別に知らせる機能	該当する回のライブ講義のZoom等の案内について、その回を希望した受講者へのみ知らせる機能があること		
	37	Zoomあるいは同等の双方向形式の研修ができるシステムの操作方法のフォロー (操作方法・マニュアルの作成)	操作に対する受講者フォローの手段(問い合わせ対応やマニュアル等)があること		
	38	ライブ講義中の自動出席確認	受講者が申し込んだZoom等でのライブ講義に出席したことが自動で把握できること		
修了時	修了証	39	修了者確定	全ての受講が修了したことが、リストに反映されるなど自動でまた一覧で判別できること	5
		40	修了者・未修了者お知らせ	修了しているか、未修了であるのかを、受講者に通知できること	
		41	修了証発行・ダウンロード	協会で指定する形式で修了証がオンラインで発行できること コースにより異なる条件を差し込み表示することができること	
セキュリティ	セキュリティ	42	サーバ・バックアップサーバが国内に複数ある	バックアップが安全かつ確実に行われていること	8
		43	Pマーク取得	個人情報の取扱いが適切であり、基準に適合した事業者であること	
		44	ISMS取得	個人情報の取扱いが適切であり、基準に適合した事業者であること	
		45	第三者による認証	Pマーク取得・ISMS取得以外の認証を受けている	
		46	情報漏えい・システム破損時の対策	情報漏えい・システム破損時の対策がたてられていること	
		47	情報漏えい時のフォロー	情報漏えい時のフォローができること	
48	システム破損時のフォロー	システム破損時のリカバリーができること			
納期	納期	49	令和6年7月に納品が可能である	令和6年7月に受講予約の開始が可能であること	10
合計点					70